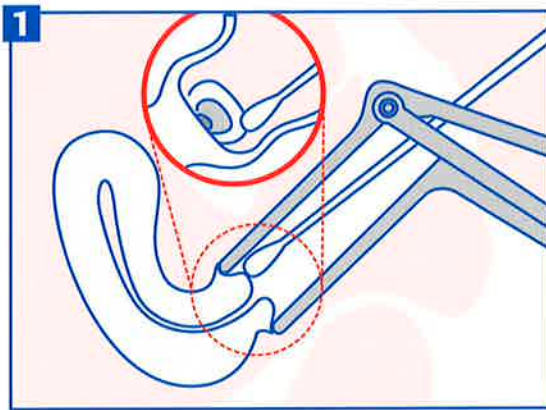


cobas[®] 4800システム CT/NG

子宮頸管検体の採取方法

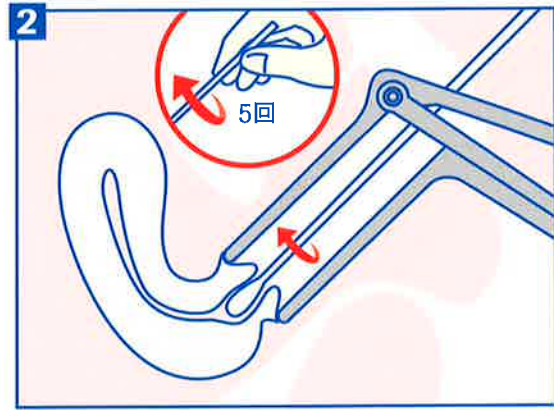
子宮頸管検体の採り方



子宮頸部の粘液除去

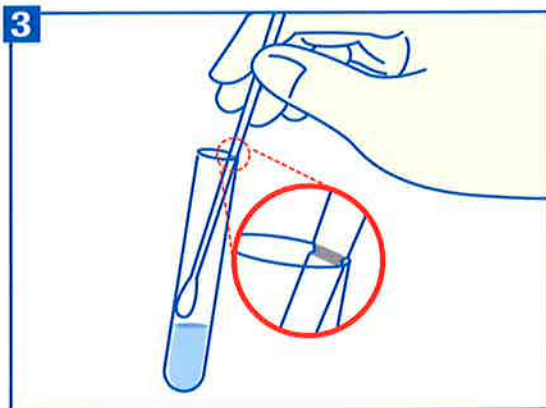
スワブ検体採取セット付属の1本目のスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を充分拭い取ります。

注意 粘液を拭ったスワブは廃棄します。



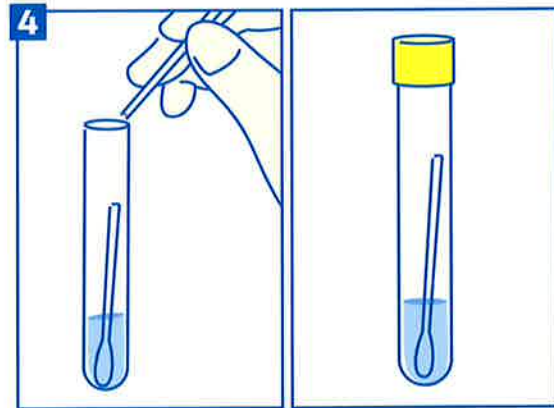
子宮頸管検体の採取

付属されている2本目のスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向にそと5回スワブを回します。(まわし過ぎないでください。) スワブを引き抜く際は腔の粘膜に触れないように注意してください。



子宮頸管検体の保存

コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したスワブの先端の綿球が、コバスPCRメディアの溶液に漬からないように注意しながら入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。



コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、スワブの柄に付けられた線で折ります。

コバスPCRメディアのキャップをしっかりと閉めます。

注意 手元に残った折られた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。

cobas[®] 4800システム CT/NG

子宮頸管検体の採取方法

■ 検体採取容器外観



コバスPCRメディア



スワブ (2本付)

子宮頸部の粘液除去用・子宮頸管検体の採取用

■ 検体採取上の注意

- コバスPCRスワブ検体採取セット付属の検体採取スワブ以外は使用しないでください。
- 検体に大量の血液が混入した場合は正しい結果が得られない事があります。
- 粘液を十分除いてから検体を採取してください。
- コバスPCRメディアには検体を採取したスワブのみ入れてください。

スワブを保存したコバスPCRメディアは2~30℃で12か月安定です。

■ 一般的な注意

- 子宮頸管検体を採取する前にスワブをコバスPCRメディアに浸さないでください。
- 検体を採取したスワブは速やかにコバスPCRメディアに入れてください。
- コバスPCRメディアは絶対に凍結しないでください。
- コバスPCRメディアは塩酸グアニジンを含みます。誤って皮膚、目及び粘膜に付着した場合には、直ちに大量の水で洗い流してください。必要があれば医師の手当てなどを受けてください。
- コバスPCRメディアの溶液をこぼした場合には、必ず水で希釈してから拭き取ってください。